

第2章 ニーズ調査結果

1. ニーズ調査の結果概要

※ニーズ調査の結果を読むに当たっての注意点

- 各設問の比率は無効回答を除く比率です。
- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対し、それぞれの回答数の割合を小数点以下第二位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 図表中の「n」（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する者）を表します。

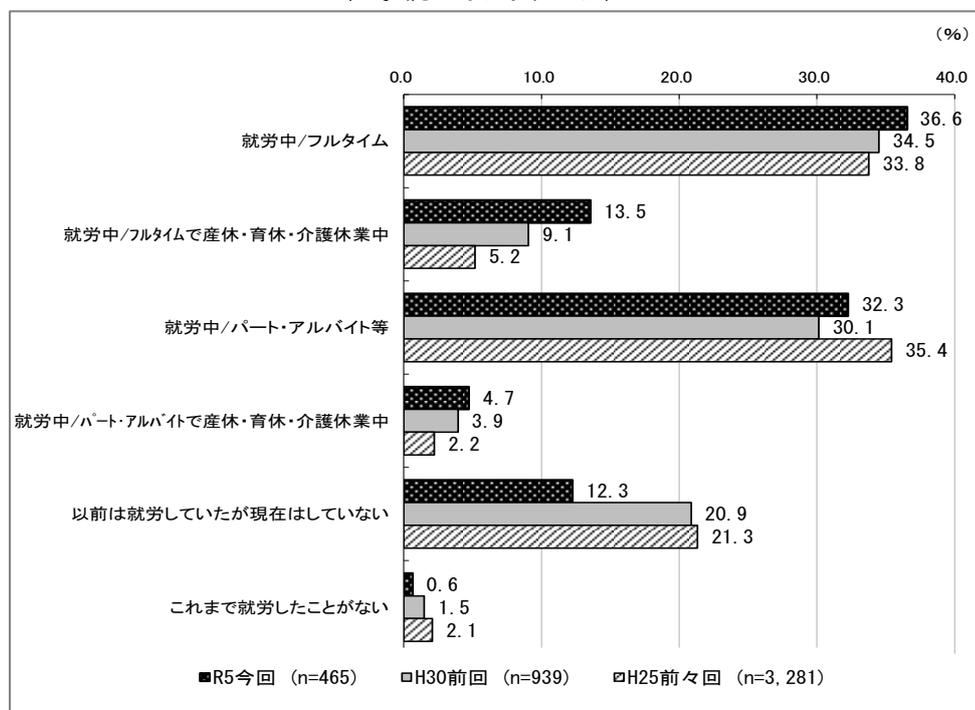
(1) 就学前ニーズ調査の結果

☆ 保護者の就労状況について

【保護者の現在の就労状況】

母親の就労状況は、前回、前々回調査と比較すると、パート等から正規就労への移行が進み、かつ、産休・育休・介護休業中とする割合が上昇していることがうかがえます。

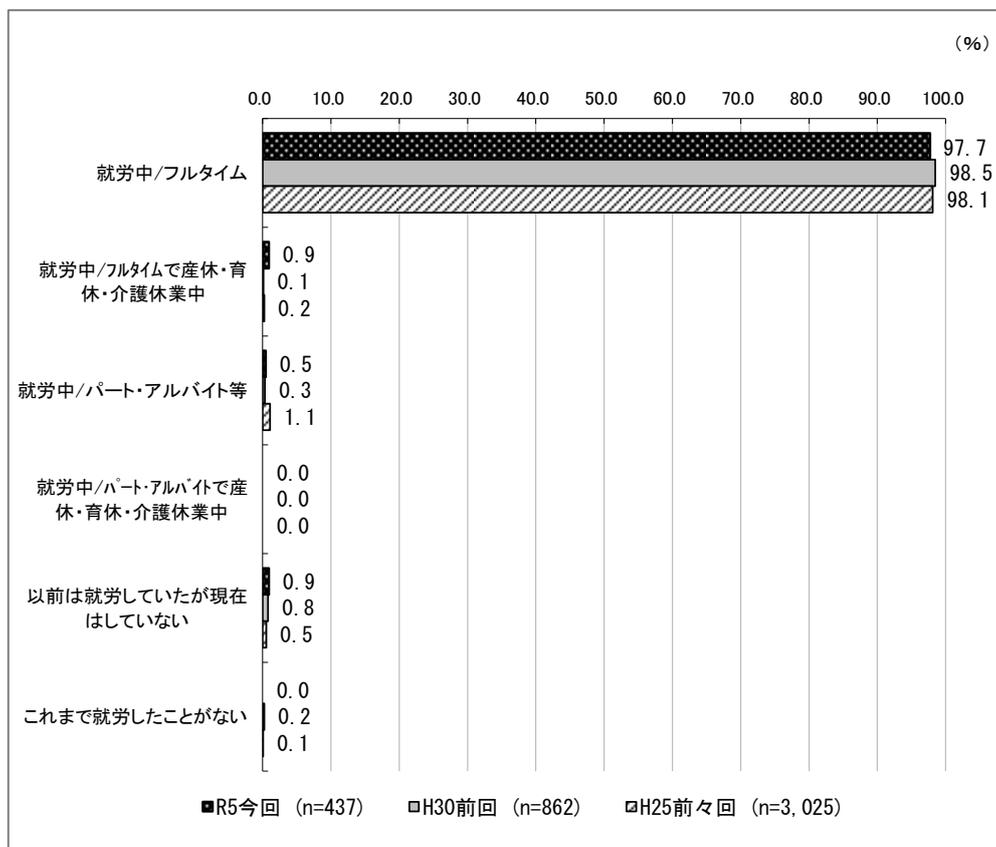
◇母親の就労状況◇



資料：就学前ニーズ調査結果より

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」とする割合が97.7%で最も高くなっており、前回、前々回と比較しても、大きな変化はみられません。

◇父親の就労状況◇

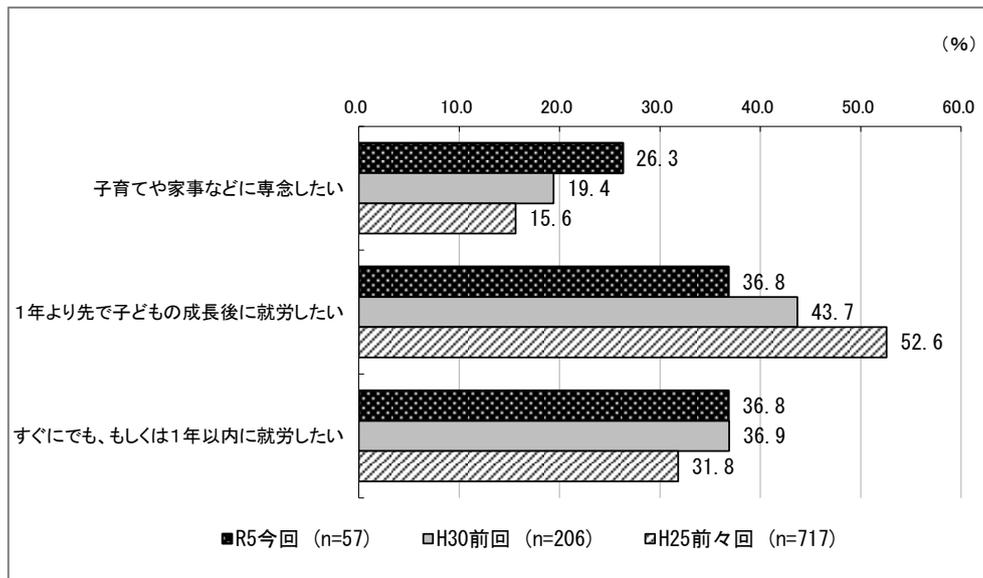


資料：就学前ニーズ調査結果より

【現在就労していない保護者の今後の就労意向】

母親の就労希望は、前々回調査では「1年より先で子どもの成長後に就労したい」の割合が5割強を占めていましたが、今回の調査では36.8%にとどまり、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」と同率であるなど、無業の母親の就労意向は多様化していることがうかがえます。

◇無業の母親の今後の就労意向◇



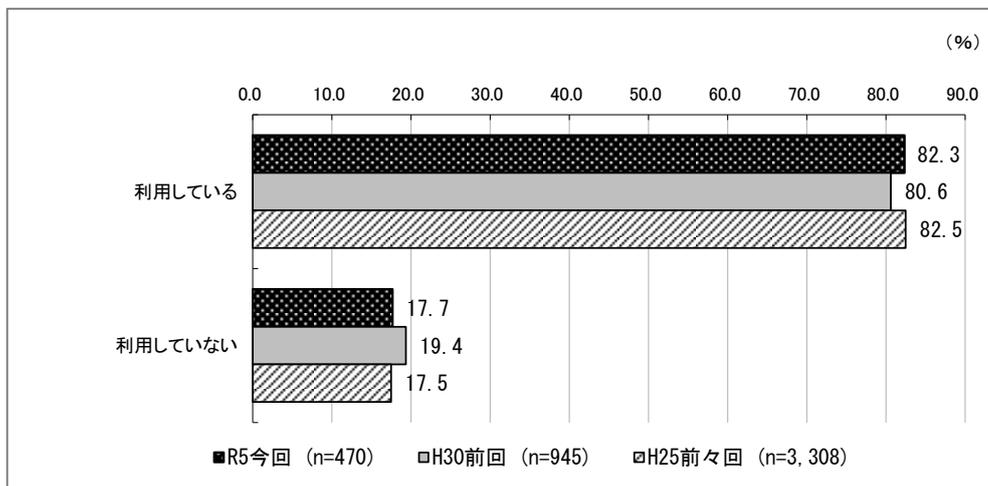
資料：就学前ニーズ調査結果より

☆ 教育・保育事業の利用について

【平日の定期的な教育・保育事業（認定こども園・保育園・幼稚園など）の利用状況】

「利用している」とする割合が82.3%で最も高くなっています。前回、前々回調査と比較しても、大きな変化はみられません。

◇子どもの「日中の定期的な教育・保育事業」の利用状況◇

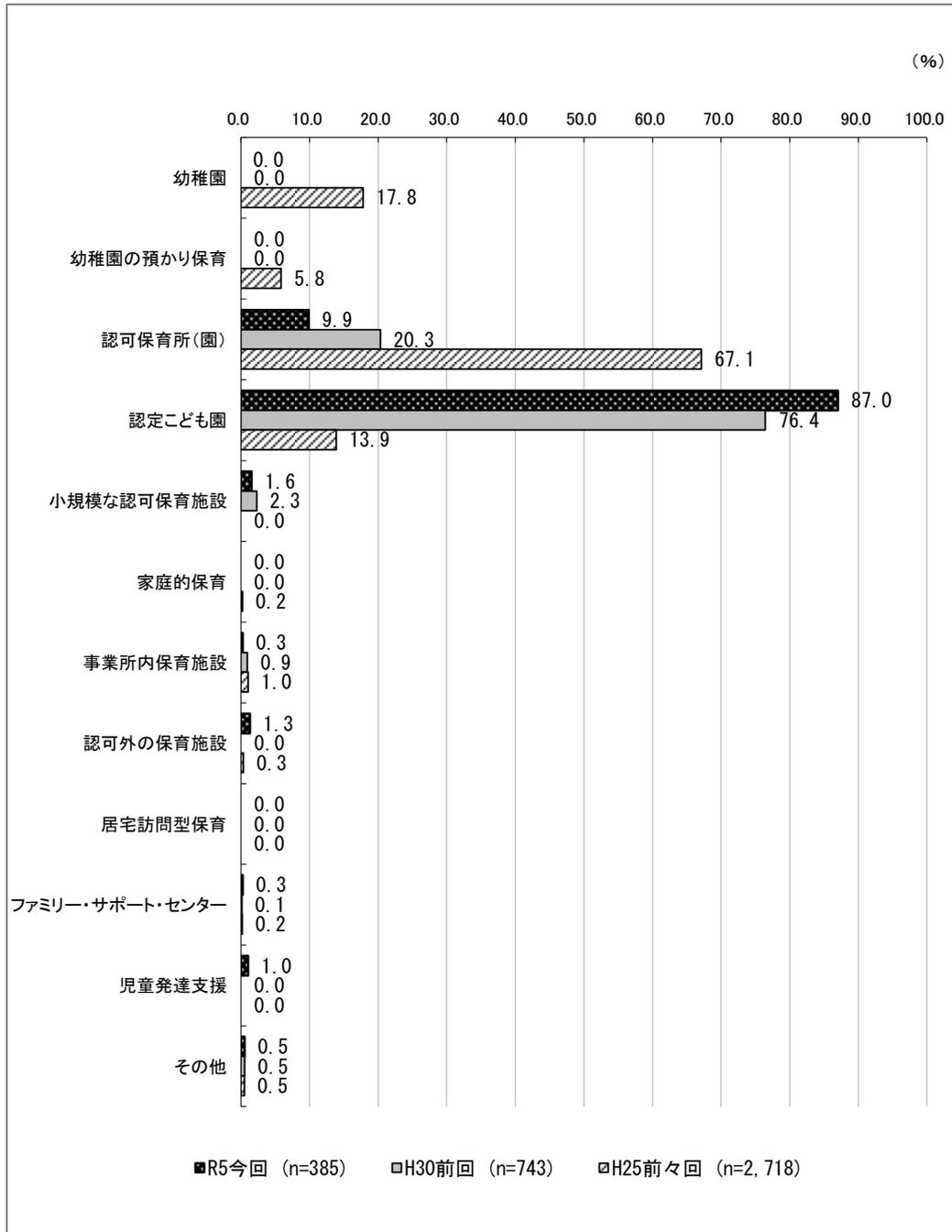


資料：就学前ニーズ調査結果より

【利用している教育・保育事業（複数回答）】

「認定こども園」とする割合が87.0%で最も高く、次いで「認可保育所（園）」が9.9%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「幼稚園」や「認可保育所」から「認定こども園」に移行していることが顕著となっています。

◇利用している教育・保育事業◇

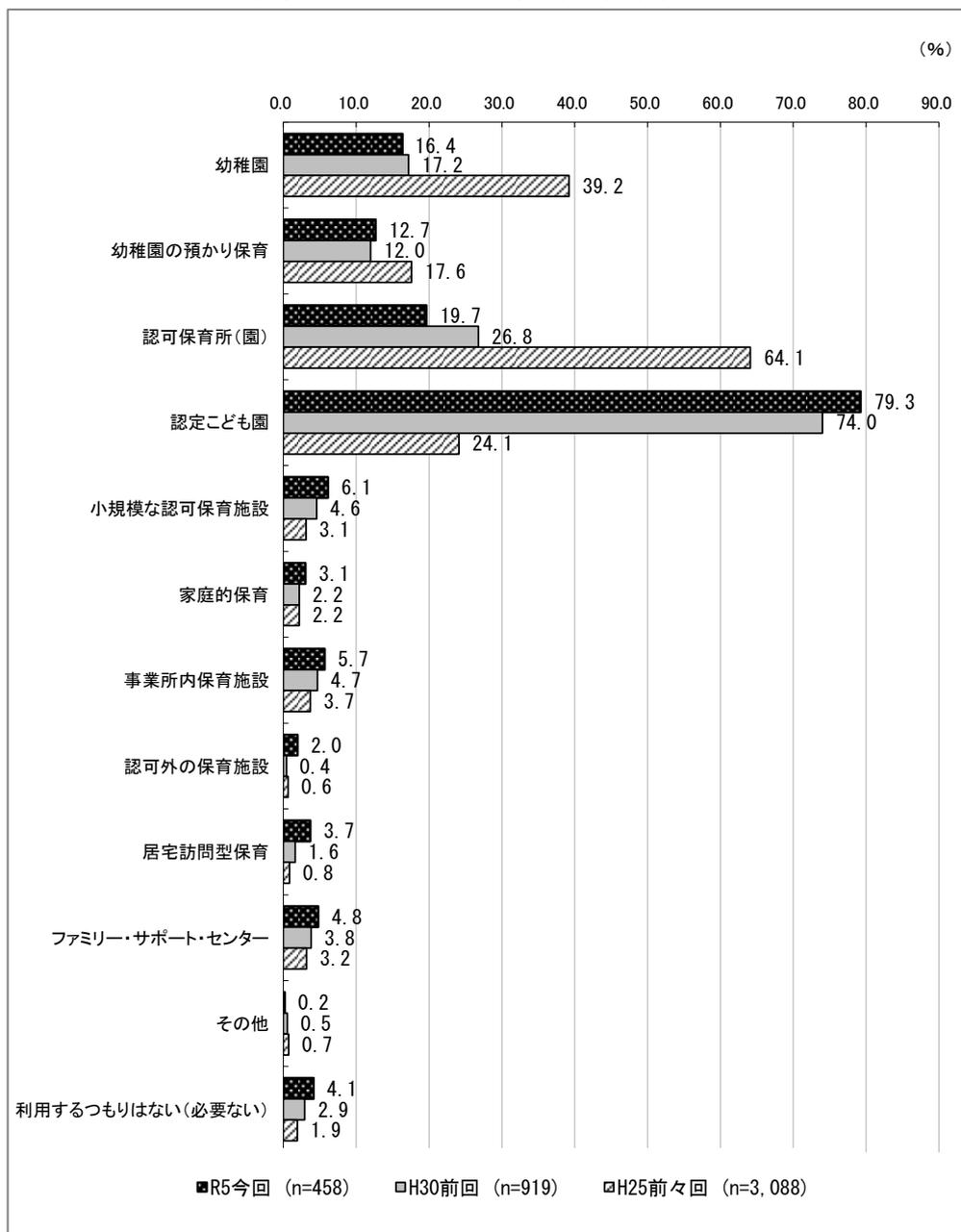


資料：就学前ニーズ調査結果より

【今後、利用したい教育・保育事業（複数回答）】

「認定こども園」とする割合が79.3%で最も高く、次いで「認可保育所（園）」が19.7%となっています。前々回と比較すると、「幼稚園」の割合が大きく減少しているものの、16.4%の利用意向があります。

◇定期的にご利用したい、教育・保育事業◇



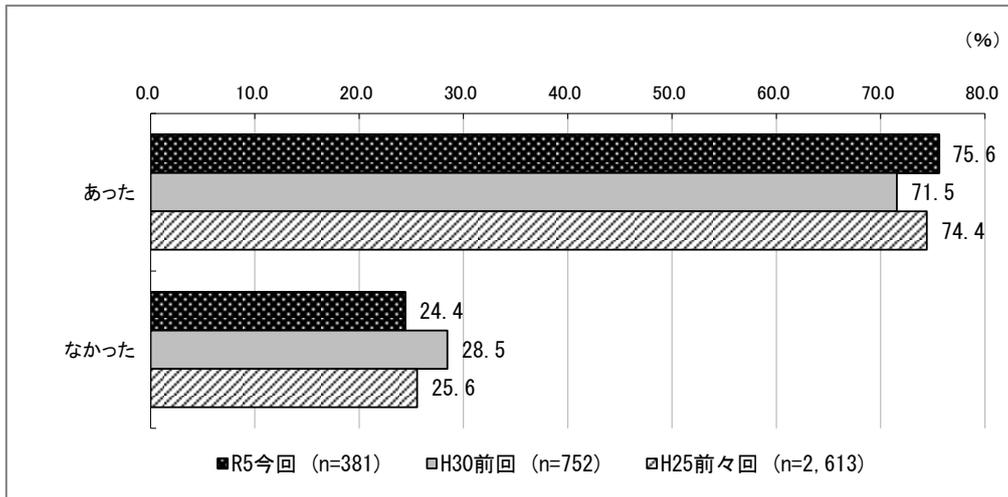
資料：就学前ニーズ調査結果より

◇ 子どもが病気やけがのときの対応について

【子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった経験】

この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の教育・保育サービスが利用できなかったことが「あった」とする割合は75.6%となっています。前回、前々回と比較しても、大きな変化はみられません。

◇病気やけがのために通常の教育・保育事業を利用できなかった経験◇

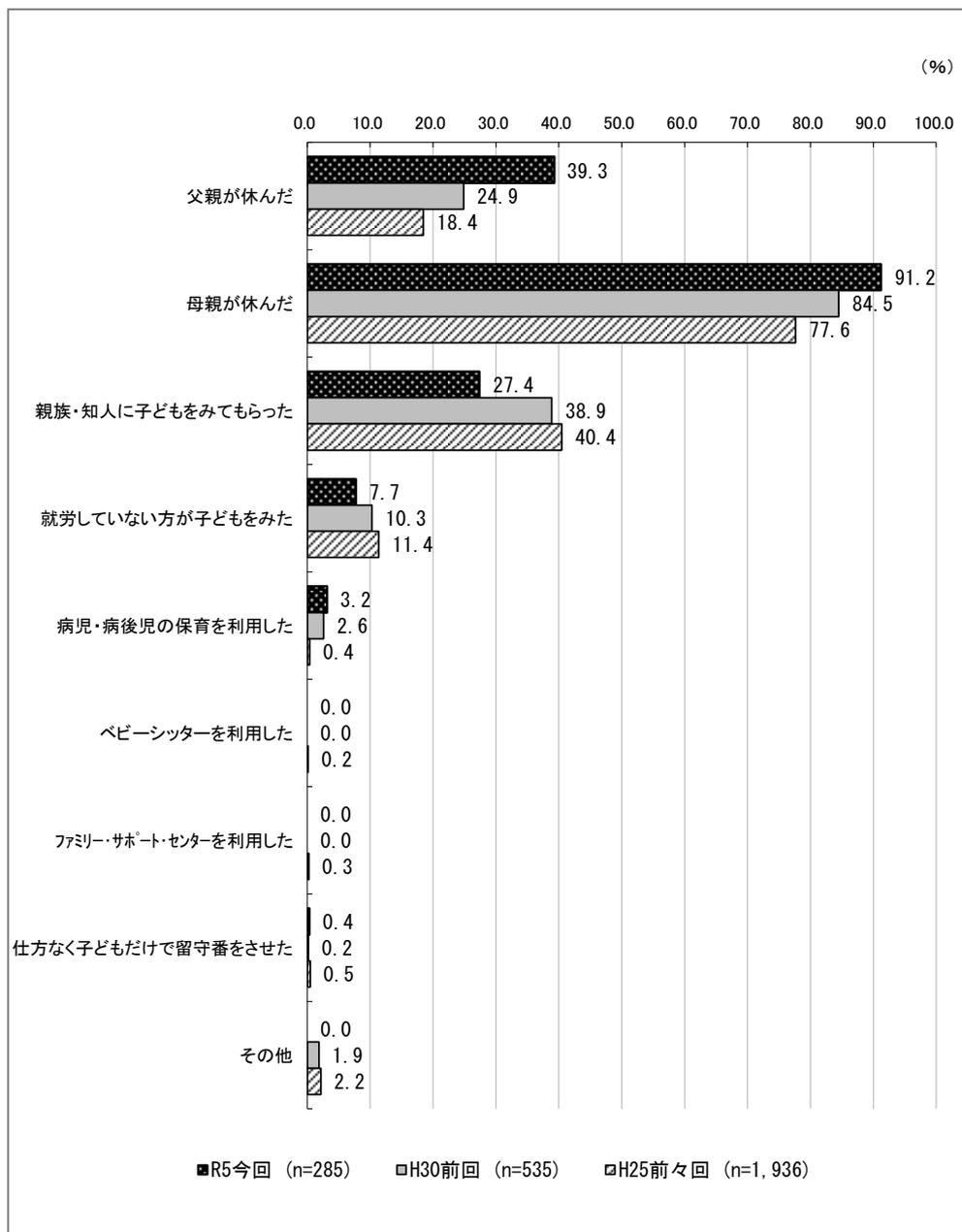


資料：就学前ニーズ調査結果より

【そのときの対処方法（複数回答）】

病気やけががあった場合の対処方法は、「母親が休んだ」とする割合が91.2%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が39.3%となっています。前回、前々回と比較すると、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」の割合が増加し、「親族・知人に子どもをみてもらった」が減少しています。

◇病気やけがにより通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法◇

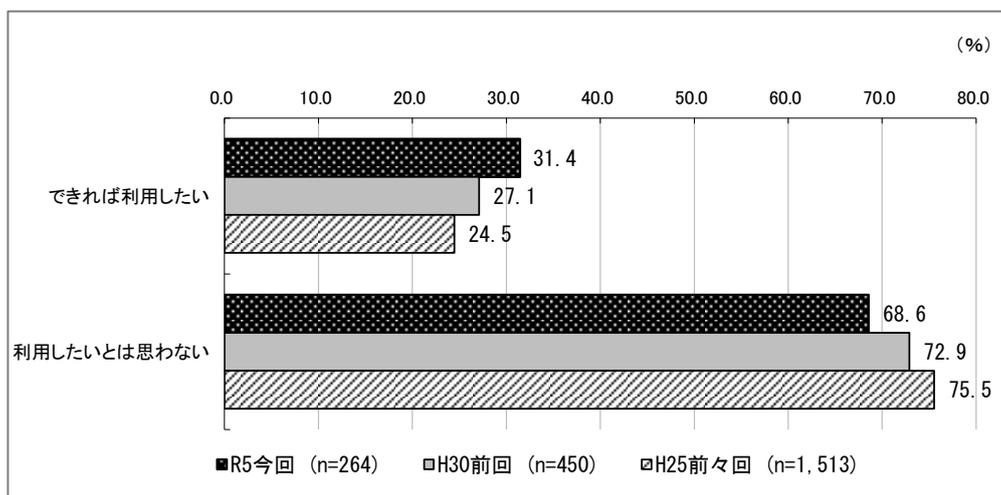


資料：就学前ニーズ調査結果より

【病児・病後児保育の利用意向】

病児保育施設等を「利用したいとは思わない」とする割合は68.6%と多数を占めています。前回、前々回調査と比較すると、「できれば利用したい」の割合は増加しています。

◇病児のための保育施設等を利用したいと思ったか◇



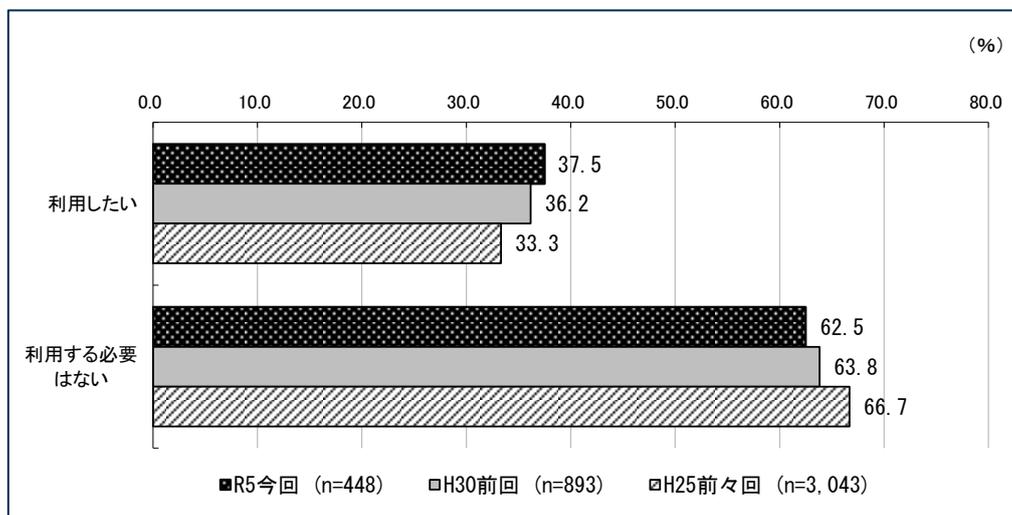
資料:就学前ニーズ調査結果より

☆ 不定期の教育・保育事業の利用について

私用、親の通院、不定期の就労等の目的でサービスを「利用する必要はない」とする割合が62.5%で多数を占めています。前回、前々回調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

【今後の利用意向】

◇不定期の教育・保育事業の利用意向◇

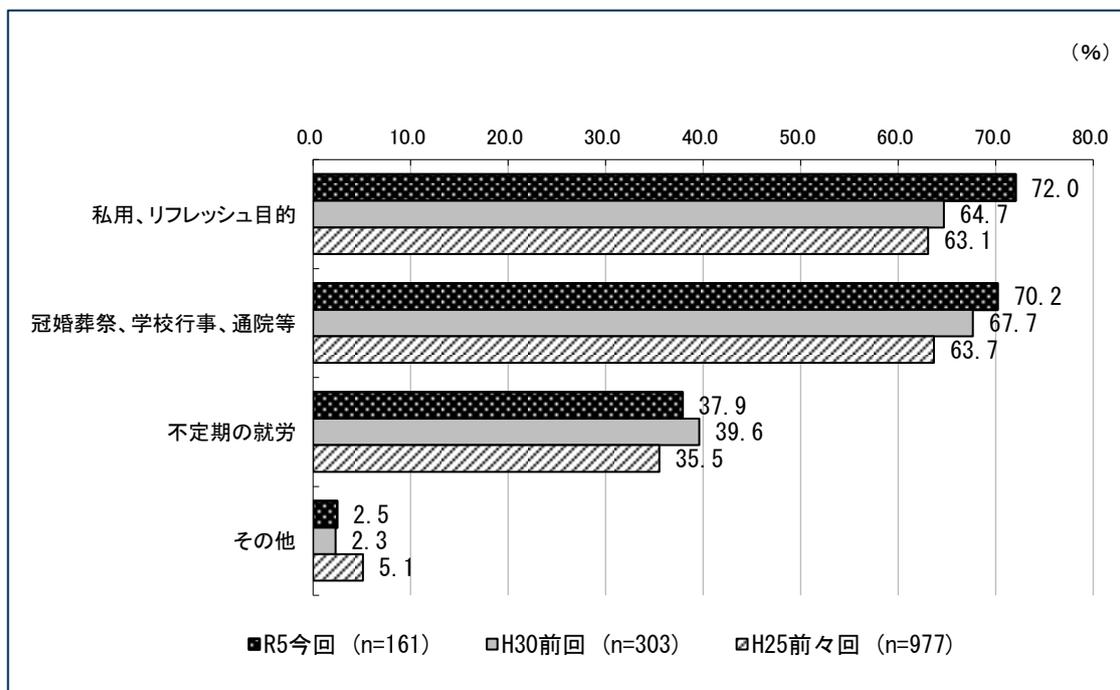


資料:就学前ニーズ調査結果より

【今後、不定期の教育・保育事業を利用したい理由（複数回答）】

事業を利用したい理由は、「私用、リフレッシュ目的」とする割合が72.0%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、通院等」が70.2%となっており、前回、前々回調査と比較すると、当該2項目は増加しています。

◇不定期の教育・保育事業を利用したい理由◇



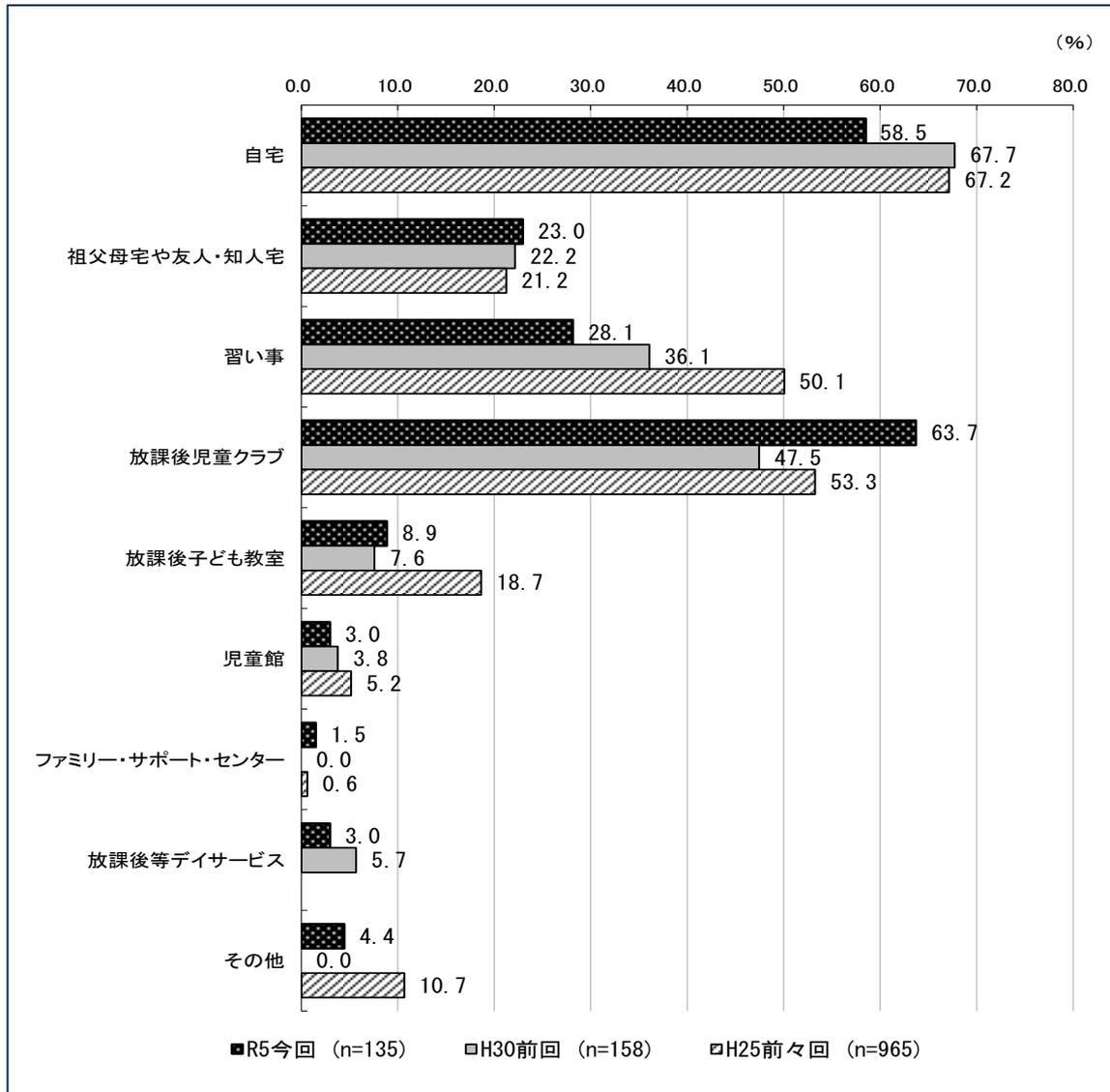
資料：就学前ニーズ調査結果より

◇ 小学校就学後の放課後の過ごし方について

【小学校就学後、放課後に子どもを過ごさせたい場所(複数回答)】

「放課後児童クラブ(学童保育)」とする割合が63.7%で最も高く、次いで「自宅」が58.5%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「自宅」、「習い事」の割合が大きく減少し、「放課後児童クラブ」の割合が大きく増加しています。

◇放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか◇



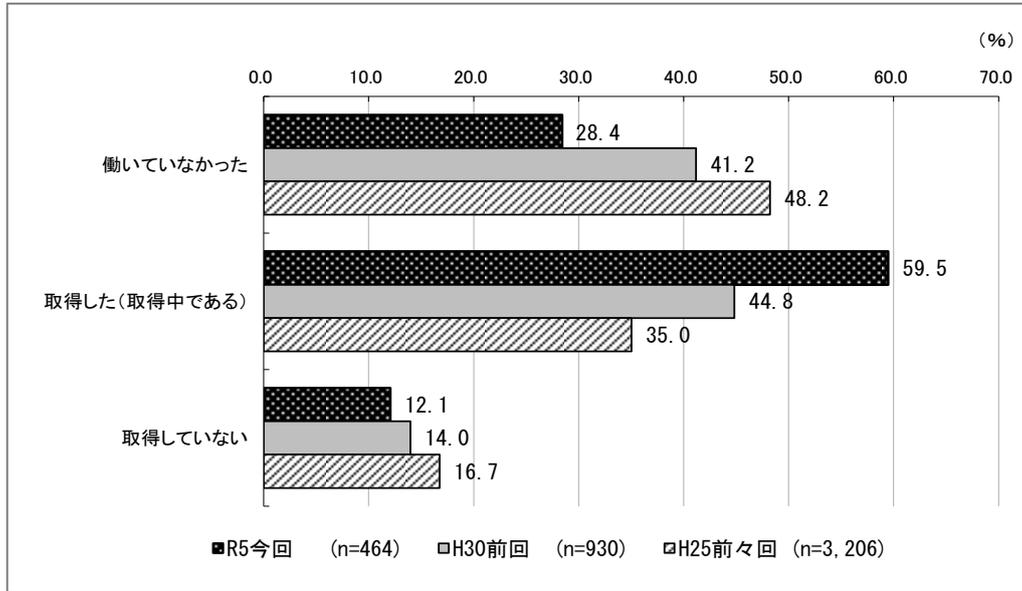
資料:就学前ニーズ調査結果より

◇ 育児休業の状況

【育児休業の取得状況】

母親の育児休業の取得について、「取得した（取得中である）」とする割合が59.5%で最も高く、次いで「働いていなかった」が28.4%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が大きく増加しています。

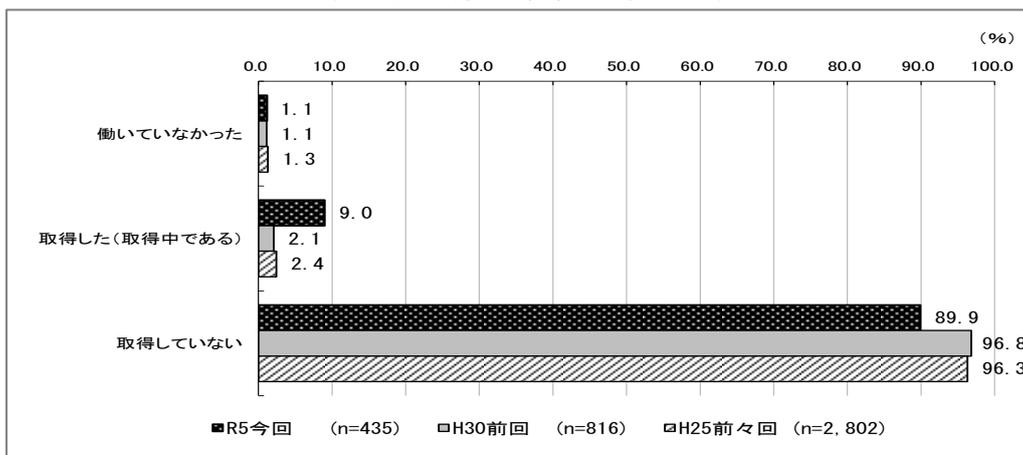
◇母親の育児休業取得状況◇



資料：就学前ニーズ調査結果より

父親の育児休業の取得について、「取得していない」とする割合が89.9%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が9.0%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。

◇父親の育児休業取得状況◇



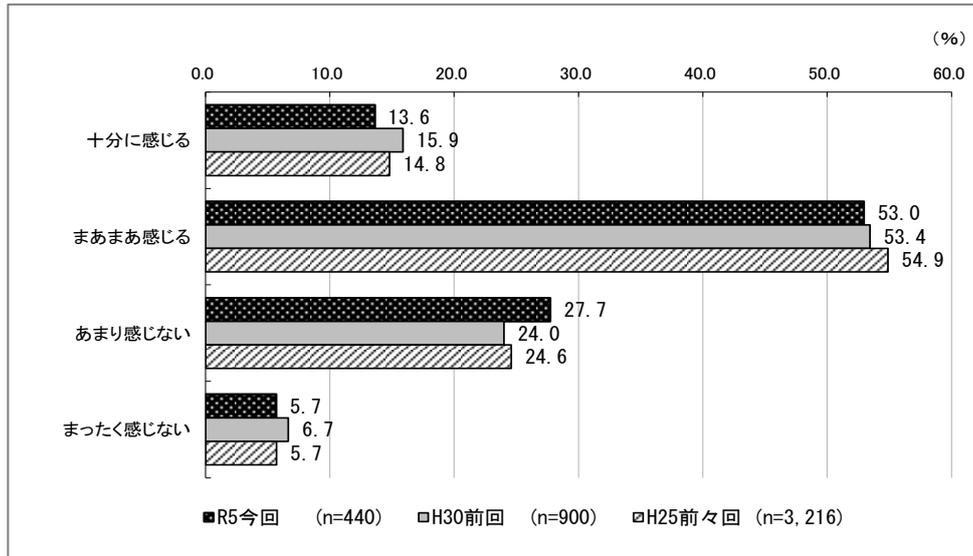
資料：就学前ニーズ調査結果より

◇ 日田市の子育て環境について

【子育てが地域の人に(又は社会で)支えられている実感】

「まあまあ感じる」とする割合が53.0%で最も高く、次いで「あまり感じない」が27.7%となっています。前回、前々回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

◇子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じるか◇

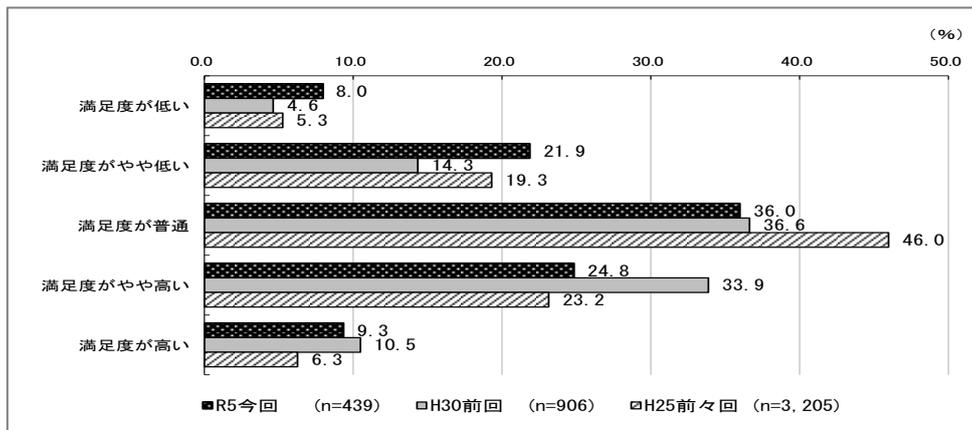


資料:就学前ニーズ調査結果より

【日田市における子育ての環境や支援への満足度】

「普通」とする割合が36.0%で最も高く、次いで「やや満足度が高い」が24.8%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「満足度がやや低い」、「満足度が低い」の割合が増加しています。

◇地域における子育ての環境や支援への満足度◇



資料:就学前ニーズ調査結果より

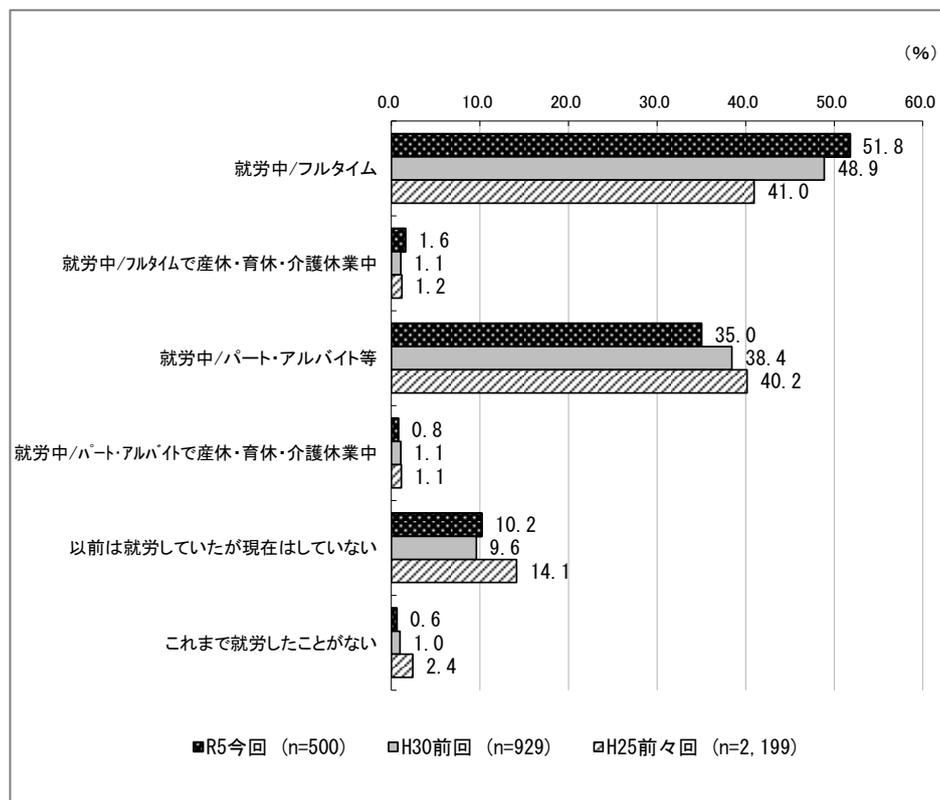
(2) 小学生ニーズ調査の結果

☆ 保護者の就労状況について

【保護者の現在の就労状況】

母親の就労状況は、「就労中／フルタイム」とする割合が51.8%で最も高く、次いで「就労中／パート・アルバイト等」が35.0%となっています。前回、前々回調査と比較すると、パート等から正規就労への移行が進んでいることがうかがえます。

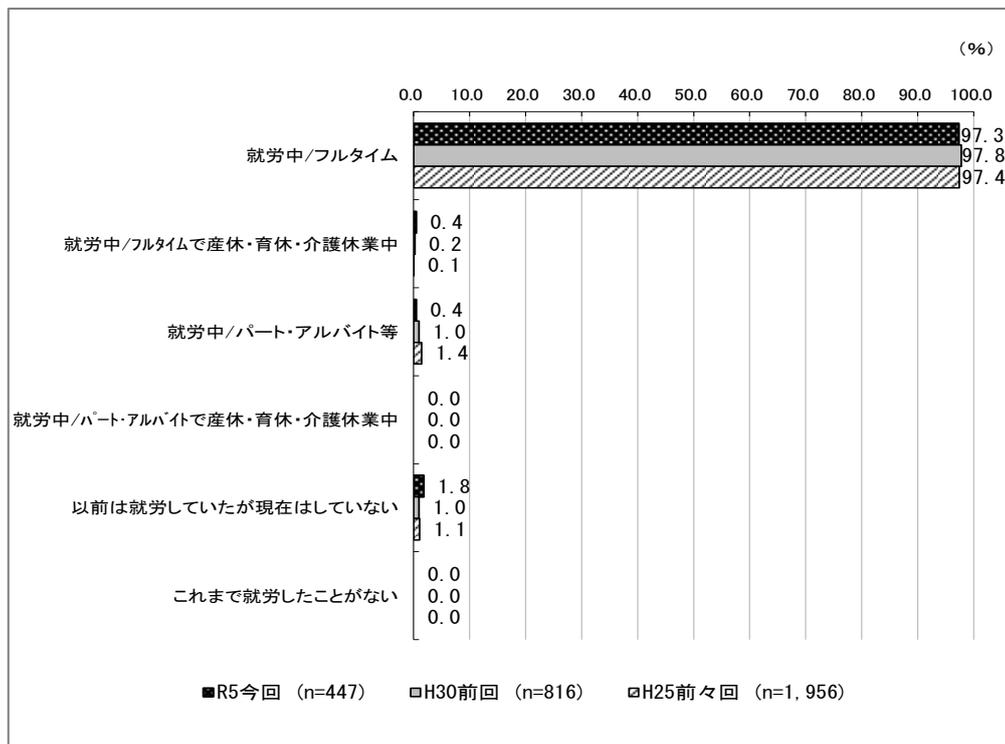
◇母親の就労状況◇



資料：小学生ニーズ調査結果より

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」とする割合が97.3%で最も高くなっています。前回、前々回調査と比較しても、大きな変化はみられません。

◇父親の就労状況◇



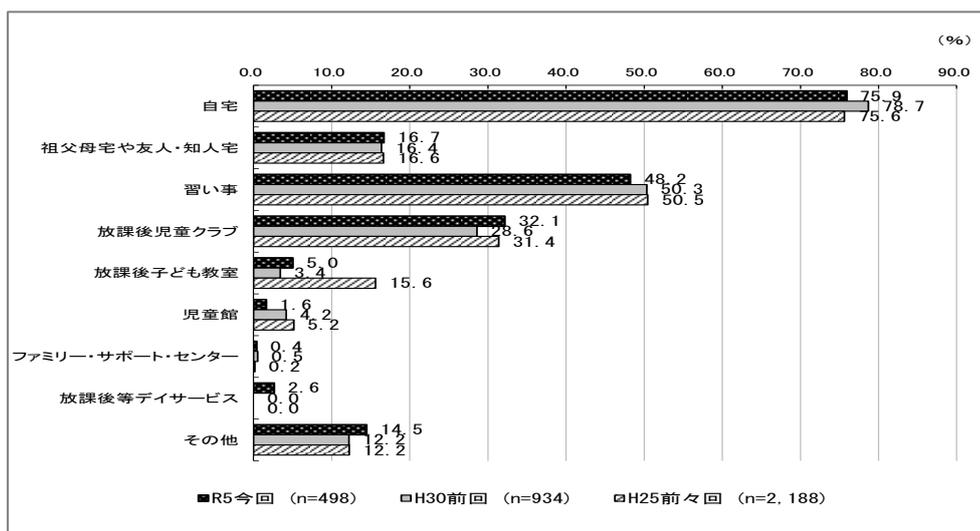
資料：小学生ニーズ調査結果より

◇放課後の過ごし方について

【放課後に子どもを過ごさせたい場所（複数回答）】

「自宅」とする割合が75.9%で最も高く、次いで「習い事」が48.2%となっています。前回、前々回調査と比較すると、「放課後子ども教室」の割合が大きく減少しています。

◇放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか◇



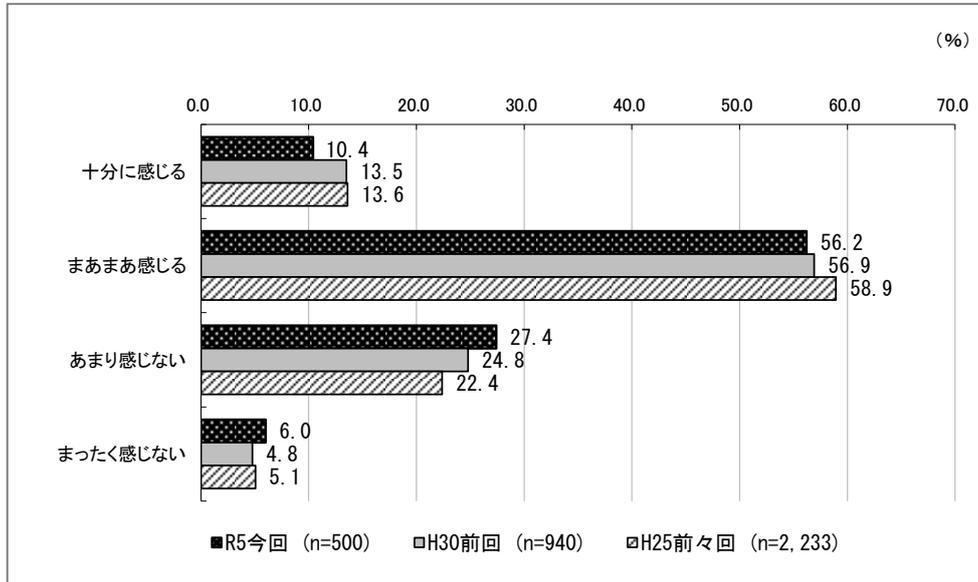
資料：小学生ニーズ調査結果より

◇ 日田市の子育て環境について

【子育てが地域の人に(又は社会で)支えられている実感】

「まあまあ感じる」とする割合が56.2%で最も高く、次いで「あまり感じない」が27.4%となっています。前回、前々回調査と比較すると、“感じない”の割合(「あまり感じない」と「まったく感じない」の割合の合計)が増加しています。

◇子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じるか◇

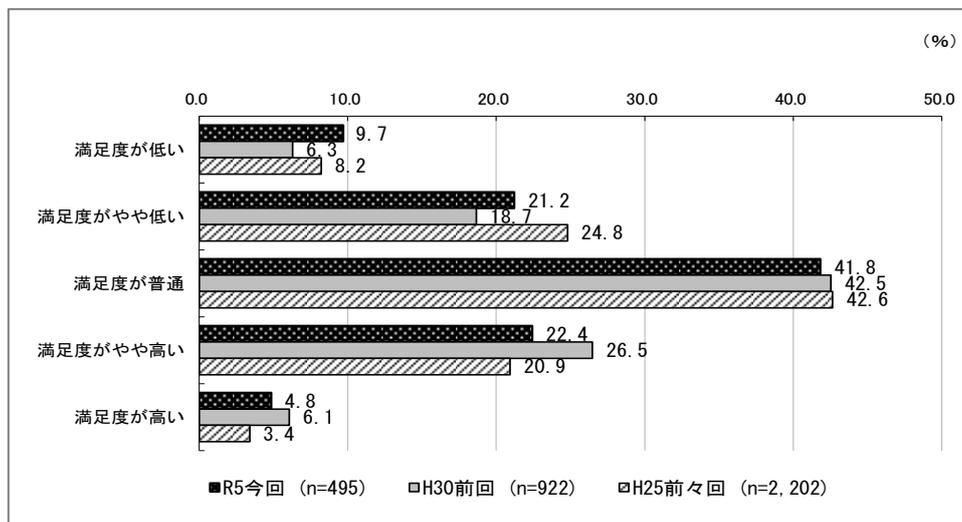


資料:小学生ニーズ調査結果より

【日田市における子育て環境や支援への満足度】

「普通」とする割合が41.8%で最も高く、次いで「満足度がやや高い」が22.4%となっています。“満足度”（「満足度がやや高い」と「満足度が高い」の割合の合計）は前回において前々回調査より増加したものの、今回調査で減少しています。

◇地域における子育て環境や支援への満足度◇



資料：小学生ニーズ調査結果より